

2025 年 6 月 26 日

取締役会事務局

取締役会実効性評価について

当社は2021年11月16日付で提出した「コーポレートガバナンス・コードに関する当社の取り組み」におきまして、取締役会の評価を行い、その結果を開示することとしております。

毎年、取締役会がどのように貢献しているかを検証し、課題を抽出し、改善を図る目的で、取締役会自身が取締役会全体の実効性について、評価を実施しております。この度、2024年度における当社取締役会の実効性について、以下のとおり評価を行いましたので、開示いたします。

1. 評価の方法

4～5月に各取締役および監査役に対しアンケートを依頼し、結果を集計、分析いたしました。アンケートに際し、各取締役および監査役から意見の記載も求めました。なお、実施にあたっては、独立性を持った外部機関の協力を得て、第三者視点での課題抽出を行いました。

2. 評価の結果と分析

アンケートの結果、各設問につきポジティブな評価が大勢を占めていたものの、「社外取締役の役割・機能発揮」「指名・報酬プロセスの透明性」「サステナビリティの議論」については、主要課題として抽出いたしました。

3. 評価結果の運用

抽出した課題について今後継続的に改善に取り組むことで、取締役会の実効性をさらに高めてまいります。

・社外取締役の役割・機能発揮

取締役会が社外取締役へ期待する役割につき、より具体的に各取締役へ共有いたします。さらに、社外取締役がより議論に参画しやすい環境を整えるため、事業理解を促すための勉強会の開催、現場視察機会の提供、役員トレーニングの実施に取り組んでまいります。

・指名・報酬プロセスの透明性

指名・報酬に関するより具体的な評価基準を取締役会へ説明することや、委員会での議論状況を取締役会へ定期的に報告することで、指名・報酬プロセスの透明性を向上し

てまいります。

・サステナビリティの議論

取締役会にてさらなる議論の場を設けることや、議論を促すために論点を明記した資料を作成・活用いたします。さらに、審議にて聴取した社外取締役からの意見を取入れ、具体的なアクションプランへ落とし込んでまいります。

4. アンケート項目と結果の記載

<大項目と設問数>

- ①取締役会の構成と運営(9 問)
- ②経営戦略と事業戦略(7 問)
- ③企業倫理とリスク管理(5 問)
- ④経営陣の評価と報酬(4 問)
- ⑤株主等との対話(2 問)

<回答方式>

5 段階評価

- 5:有効、適切
- 4:どちらかといえば有効、適切
- 3:どちらともいえない
- 2:どちらかといえば改善余地あり
- 1:要改善、不適切

大項目ごとにコメント・要望の記載を求めました。また、取締役会の実効性や、2025 年 6 月に予定している監査等委員会設置会社への移行に際して期待することに関してもコメント・要望の記載を求めました。

大項目	設問数	平均評点
①取締役会の構成と運営	9 問	3.8
②経営戦略と事業戦略	7 問	3.7
③企業倫理とリスク管理	5 問	4.1
④経営陣の評価と報酬	4 問	4.0
⑤株主等との対話	2 問	3.9
総計	27 問	3.9

以 上